



園だより

宮崎大学教育学部附属幼稚園
令和5年度 第11・最終号

ご卒園 おめでとうございます

♪ いつのことだか おもいだしてごらん あんなこと こんなこと あったでしょう
うれしかったこと おもしろかったこと いつになってもわすれない ♪

子ども達の2年間ないし3年間の園生活が修了します。

先日年長さんが、「園長先生、幼稚園楽しかったよ。ありがとう」と言ってくれました。子ども達にとっても、保護者の皆様にとっても、「うれしかったこと、おもしろかったこと」がたくさんあった、思い出いっぱいの楽しい園生活であったのであれば、何よりうれしいことです。

子ども達は毎日の生活の中で、生き生きと遊んだり、活動したりすることを通して、たくさんの力を身に付け、大きくたくましく成長しました。たくさん考え、試行錯誤をしながら工夫を重ね、粘り強く物事に取り組み、友達と一緒に力を合わせたり、意見を出し合ったりして遊びを進める楽しさを感じ、自分や友達のよさを認め合い、本当にによく遊びよく学びました。バディさんとかかわりでは、年少や年中の頃にやさしくしてもらったように、年長になって年下の友達にとってもやさしく接してくれました。7日(木)には、バディさん親子から感謝の言葉をいただきました。これまでやさしくしてくれて、仲良くしてくれてありがとう。



【バディさんから ありがとう】

入園当初は、保護者の方から離れることや新しい環境に不安や戸惑いを抱いている姿もありましたが、保護者の皆様が支えてくださったおかげで、少しずつ園生活に慣れ、自分らしさを発揮したり、いろいろな場面で年下の友達のよいお手本になってくれたりする頼もしい存在となりました。在園中、新型コロナウイルス感染症の影響をはじめ、ご心配やご不安を抱かれたこともあったことと思います。それでも毎日子ども達と一緒に登降園し、子ども達の育ちを信じ、子ども達に寄り添う先生方を信じ、いつもあたたかく見守り、支えてくださったおかげで、子ども達はたくさんの経験を重ね、心も体も大きく成長することができました。毎日の送迎、PTA 活動、日々の準備やお弁当づくりなどなど、保護者の皆様ありがとうございました。子ども達とともに園生活を楽しみ、たくさんご協力をしていただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

♪ 1ねんじゅうを おもいだしてごらん あんなこと こんなこと あったでしょう
もものおはなも きれいにさいて もうすぐ みんなは 1ねんせい ♪

4月からは小学生ですね。小学校では、自力登下校など少しずつ自分で考え、判断し、自分の力でできるようになることが求められていきます。附属幼稚園で好きな遊びを通して、人やものにかかわり、考え、表現しながら育ってきた子ども達ですから、これからも身に付けた力を生かし、新たな力を発揮していくことでしょう。そして、小学校でも大好きなことを見つけていってくれることでしょう。大好きなことがあると、世界は楽しく、豊かになります。

保護者の皆様、これからも子ども達の育ちを信じて、あせらず、あわてず、子ども達の思いに寄り添い、支えていってくださいね。小学校に進学しても、ちょっとほっとしたいとき、ちょっと心配なときなどは、いつでも幼稚園に帰ってきてください。幼稚園はみなさんのふるさとです。これからも一人一人の子ども達が、自分らしく育ちながら、元気に大きく成長していきますよう、職員一同、幼稚園からずっと応援しています。そして、みなさんにまた元気に会えること楽しみにしています。

この幼稚園で過ごした時間を誇りに思い、力にして、いつまでもつながっていくことを願い、最後の園だよりといたします。ご卒園おめでとうございます。

【ビオトープでバディさんとよもぎ摘み】



【バディさんと一緒にお弁当】



【年少さん年中さんが見守る中で予行練習】



【幼稚園最後のお弁当 * みんなで食べました。
これまでお弁当の準備をありがとうございました】



【幼稚園を親子で大掃除 *
きれいになりました。ありがとうございました】